

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文・表現等が正確である。
	地理歴史	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文・表現等が正確である。造本も適切で体裁もよい。
	公民	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文・表現等が正確である。造本も適切で体裁もよい。
	数学	経済的負担減と再履修生徒を考慮して基礎基本が充実した教科書を考えて。
	理科	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。図表等の資料も見やすく、分かりやすい。教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。
	保健体育	内容が適切で、体裁もよいから。
	芸術	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文・表現等が正確である。造本も適切で体裁もよい。
	外国語	C E 基礎については教科書は2種類しかない。C E I、C E IIについても、生徒の学力に応じた易しめのものを選択している。
	家庭	程度が生徒の実態に即し、適当である。内容は系統的であり、図表等の資料も見やすく、教科の目標を達せするよう適切な創意・工夫がなされている。
	情報	社会と情報は、生徒の実態と教科内容を考慮して選定。情報の科学は社会と情報と同じ会社とにならないように配慮した。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	内容が科目の目標に適合しており、図表グラフ等が分かりやすい。
	工業	
	商業	生徒の実態に即しており、分かりやすい。表現や色使いなどを見やすい。
	水産	
	家庭	程度が生徒の実態に即し適当である。内容は系統的であり、教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。
	看護	
	情報	
	福祉	